

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	勤務年数の長い職員が多くなり、業務や入居者への慣れから、認知症ケアや介護の部分で能力に差が出てきている。研修等への参加を積極的にすすめ、職員全体のスキルアップが課題となっている。	職員全体の認知症ケアの(入居者へのかかわり方)や介護技術に関するスキルの向上。	個々の職員の介護能力と認知症ケアの習熟度に合わせ外部研修への参加を積極的に図る。具体的には介護技術に関する研修もしくは認知症ケア研修に参加し、最新のケアを学ぶ。研修終了後ケア会議にて研修報告を実施し全職員で知識の共有を図ることでケアの質を上げる。また内部での国家資格保持者による介護技術実演を交えた内部研修を実施し、介護技術の向上を図る。	12ヶ月
2	49	入居者の外出支援は行っているが、入居者個々人の状況に応じて臨機応変な外出支援が行えていない。	計画を立てた外出だけでなく、個々人の状況に応じた臨機応変な外出支援をしていく。特に体力に自信のない方などはドライブや散歩など近隣の外出を積極的に実施する。	計画した外出だけでなく、その日の元気、入居者の気持ち等を確認し入居者が望んだ時に行きたいところへ外出できるよう出勤した職員で話し合いながら外出支援していく。日ごろなかなか外出できない入居者も職員で業務を調整し、近隣外出(ドライブや散歩など)を積極的に行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。